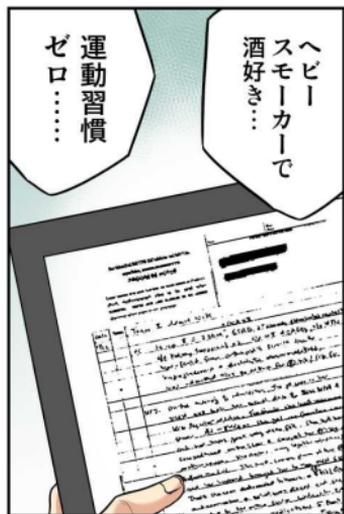


マンガでわかる

パンデミック時代の
選択

～社会医学系専門医への道～



患者さんが
運ばれて
くる前に

医者に
できることって
ないのかな…

桜井先輩？

おお
水谷か

アコ…

お久しぶりです

…いま私
大病院で
初期研修中
なんです

そう
だったのか

元氣そうだな！

…実は丁度
後期研修先に
ついて悩んで
いたところで…

ちょっと
相談に乗って
くれませんか…？



興味があった
内科を中心に
学んできて

後期研修先も
そこに強い
市中病院を
狙ってたん
ですが……



糖尿病や高血圧を
しっかりと治療せず

透析に至ってしまう
患者さんがたくさん
いるんです……



……実は俺も
そういう分野に
興味あるんだ

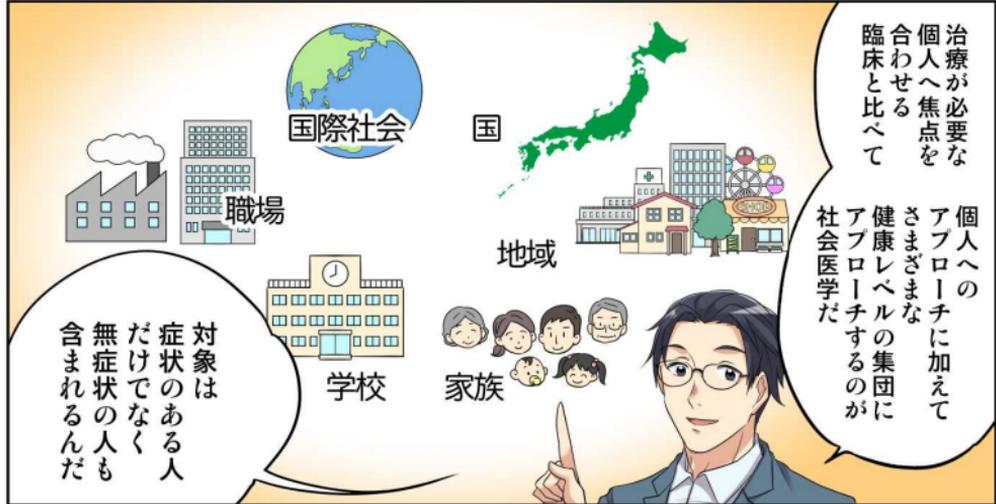
私……
もっと予防に
関わる仕事が
したいなって

でもこの
タイミングで
臨床から離れると
専門医資格も
取れないしなあ……

そうですね
よね……







下痢・感染症の治療

…なるほど



社会医学の
一部だよ

水谷さんが
学生時代の
ボランティアで
関わっていた
国際保健も



- ☑医療現場で保険医療政策を学ぶ
- ☑病学・医学統計学を応用したビッグデータを解析

晴れて
社会医学系
専門医だ

都道府県や
大学などが開設している
3年間の研修を経て
試験をパスすれば…

7つの基本プログラム

公衆衛生総論

保健医療政策

疫学・医学統計学

行動科学

組織経営・管理

健康危機管理

環境・産業保健



それって
かなり魅力的
かも……！

臨床を
しながら
専門医として
キャリアを
積めるのか…



1年後…

いろいろ
考えた結果

外科での
後期研修を
一旦終え

国立保健
医療科学院の
研修で広く
公衆衛生について
学んだあと

地元の
公衆衛生医師に
採用され

県が主催する
社会医学系専門医の
研修プログラムを
受講することにした

このプログラムでは

「行政・地域」が

主分野で

「産業・環境」と「医療」が

副分野になるんだな

社会医学は

分野が大きいから

まだまだ勉強する

ことがいっぱいだ！

1年目から
保健所などで
行政医師として
経験を積めて
充実している…

病院への
立ち入り検査



HIV検査相談



健康づくり講演会

初期研修を
修了した私は

大学院に進学して
社会医学系専門医の
研修プログラムを
受講することに…



主分野は
『産業・環境』を
選択し
連携施設となる
大手IT企業
などで
現場学習を重ねた



- ・社員への健康診断
- ・メンタルヘルス不調者の復帰支援
- ・国際学会への参加

企業の抱える
問題を発見し
それを解決できる
アイデアを
提案していく…

地域の人たち

病院やクリニックの枠を超えたふれ合い…

研修期間の
上限は
6年間か…

いろんな人と
コミュニケーションを
取るのが好きな私に
ぴったりの仕事かも



5年後…

お久しぶり
です！

うわー
お子さん
大きくなった
ねー！

専門医試験
私もパス
しました！



県の
医療政策部に
勤務して
2年目――



これから
どうするの？

産業医として
勤務しつつ

地域の
クリニックで
母子保健にも
携わる予定です



これまで
生活習慣病対策を
中心に複数の
政策立案に
尽力してきた

目の前にいる
患者の病を
治すことは
もちろん
大切だけど

社会の根本から
病に立ち向かう
ことの
やりがいは
計り知れない



2016年に
改定された
「医学教育モデル・
コア・カリキュラム」
でもその重要性が
強調された社会医学

領域横断的に
活躍できる
医師として

あなたも
新しい一歩を
踏み出して
みませんか？



社会医学系専門医制度について

社会医学は、人々の疾病を予防し、健康を維持・増進するために、これまで、大きな役割を果たしてきました。

医学をベースとして科学的なエビデンスを創出し、社会への適用・地域・職域や国レベルの集団とシステムに働きかけ、健康な生活・行動様式の推進。その他にも安全な環境の保持や医療提供システム等の構築に貢献し、人々の健康増進、疾病の予防や回復、平均寿命や健康寿命の延伸に努めてきました。

日本国憲法25条に規定される国の責務たる「すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努める」——。

医師法第一条で、医師は公衆衛生の向上及び増進に寄与するものとして位置づけられています。上記の社会医学的活動の推進には、医学の専門性に基づく医師のリーダーシップは必須であるとされています。

今後も、社会医学に使命感と熱意のある医師が、社会医学領域での専門性を高めて、本領域をさらに発展させていくことが社会的に求められています。そのためにも、社会医学領域の専門医制度の確立が必要となるのです。

社会医学は、医学を共通基盤とし、臨床医学が病める個人へのアプローチを中心とするのに対し、実践的な個人へのアプローチを有しながらも、広範な健康レベルを有する集団や社会システムへのアプローチを中心とする特徴を有しています。また医学に留まらず、科学全体やさらに経営管理等の人文系にわたる広範な学問体系を応用して理論と実践の両面から保健・医療・福祉・環境とそれらとの社会のあり方を追求する学問でもあります。

以上より、関係学会・団体が協働して社会医学系専門医制度を構築し運営するために当協議会を設立しました。(2015年9月11日)

社会医学系専門医協議会は法人化され、「一般社団法人 社会医学系専門医協会」となりました。(2016年12月5日)





一般社団法人 社会医学系専門医協会

〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13-4F

一般社団法人 学会支援機構内

03-6821-7388